

（１）市三役及び部課長職による「スマートチャレンじ70」の取り組み開始について

はじめに、市三役及び部課長職による「スマートチャレンじ70」の取り組み開始についてであります。

「スマートチャレンじ70」は、ウォーキングやラジオ体操など、自分の好きな運動を60日間行い60ポイント、さらに健康診断を受けることで10ポイント、合計70ポイントの獲得を目指すものであり、運動習慣の定着など、市民の健康づくりを目的として実施しております。この取り組みについて、このたび、私をはじめ市三役と部課長職全員でチャレンジすることといたしました。

これにより、日頃の運動不足の解消や職員の健康増進を図り、また、取り組みの状況を SNS 等で発信することで、市民の皆さまとともに健康づくりを推進してまいりたいと考えております。

このチャレンジへの参加方法など、詳しい内容につきましては、市のホームページや今年4月に全戸配布された健康ガイドブックに記載しております。

なお、70ポイントを達成された場合は、先着700名の方に、観光物産館や道の駅にのみやなどで使える500円のお買物券をプレゼントいたしますので、多くの皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

（２）真岡まちづくりプロジェクト「まちをつくろう」の令和6年度公益社団法人栃木県経済同友会「美しいまちづくり賞」の受賞について

次に、真岡まちづくりプロジェクト「まちをつくろう」、通称「まちつく」の令和6年度公益社団法人栃木県経済同友会「美しいまちづくり賞」の受賞についてであります。

この表彰事業は、栃木県の発展に大きく貢献した、栃木県内の企業経営者や団体等に対し、4つの賞を設け表彰をするもので、今回受賞した「美しいまちづくり賞」は、知恵と工夫による魅力あるまちづくりが行われている団体等を表彰するものであります。

「まちつく」は、令和3年4月から、高校生や大学生を中心に、地域住民が自らの手によるまちづくりの社会実験を企画し、これまで、五行川河川緑地を活用したマルシェやまちつくクロス、小中学生に勉強を教える寺子屋ドーナツなど、中心市街地の活性化を目指した活動を積み重ねてまいりました。

受賞にあたり、「学生の斬新なアイデアと地域の大人の協力が融合して新しい形のまちづくりを実現していること」、また、それに伴い「地域全体のまちづくり意識を高める原動力となっていること」、「社会実験の売上を寄付し、次年度への活動の資金としていることで持続可能な発展へ期待できる仕組みを確立していること」などが評価されたものであります。現在、活動は5年目を迎え、5期生の新たな発想に基づく企画展開を予定しておりますので、今後も「まちつく」の活動にご注目いただきたいと思います。

（３）本市職員のデジタル改革共創プラットフォームアンバサダー就任について

次に、本市職員のデジタル改革共創プラットフォームアンバサダー就任についてであります。

近年、地方創生や社会課題の解決において、デジタル技術の活用が不可欠となっており、本市におきましても、市民サービスの向上や業務効率化を図るため、DX・デジタルトランスフォーメーションを積極的に推進しております。

しかし、多くの自治体において、DXに関する情報や判断材料の少なさが課題となっていることから、デジタル庁では国や他の自治体の職員と気軽に情報共有や議論ができる「デジタル改革共創プラットフォーム」というオンラインコミュニティを運用しております。

この共創プラットフォームは、現在 1 万人を超える職員が参加しており、活発なコミュニケーションの場として注目されていますが、参加していない自治体への PR 活動を通じて、地方のデジタル化に貢献できる職員をアンバサダーとして任命する制度があり、本市から 2 名の職員が任命されまし

た。任命された職員は、総務部デジタル戦略課デジタル政策係の石崎係長と池澤主査であります。

2名の職員は、本市のDX推進の中核を担っており、デジタル技術を活用した様々な施策を企画・実施してまいりましたが、今回のアンバサダー就任により、国や他の自治体との交流を通じて得た知見を活かし、本市のデジタル化をさらに加速させることが期待されます。アンバサダーの活躍を通じて、デジタル技術を活用した市民サービスの向上と、より効率的な行政運営の実現を目指してまいります。

（４）栃木ゴールデンブレーブス 2025 真岡市民デーの開催について

次に、栃木ゴールデンブレーブス 2025 真岡市民デーの開催についてであります。

7月19日・土曜日の午後4時から、真岡ハイトラ運動公園市民球場において、プロ野球ルートインBCリーグ公式戦、群馬ダイヤモンドペガサスとの一戦を、真岡市民デーとして開催いたします。

真岡市内にお住まいの方、または、市内に通勤・通学をされている方は、入場無料となりますので、当日、住所や職場、学校が分かるもの、例えば、運転免許証や健康保険証、マイナンバーカード、社員証、学生証などをお持ちの上、市民球場へお越しください。

また、当日来場された方には、もちろん、真岡市民デー・オリジナルの「ガンバレ小倉選手応援うちわ」をプレゼントいたします。真岡市出身でブレーブスのキャプテンを務める小倉由靖選手を、みんなで応援して会場を盛り上げたいと思います。

また、会場の入口付近では、一般社団法人公縁クロス機構の協力による熱中症対策として、ミストシャワー付きの車両・ミスト車を配置いたします。

そのほか、当日のアトラクションとして、小学生高学年を対象としたホームラン競争、および、ボールボーイ体験の参加者を募集しています。申し込み方法など、詳しくは市ホームページまたは栃木ゴールデンブレーブスのホームページをご覧ください。皆さまのご参加、ご来場をお待ちしております。

（５）真岡くらしのガイドブックの発行について

次に、真岡くらしのガイドブックの発行についてであります。

市民サービスの向上や地域経済の活性化、移住等を考える方々への情報提供を目的として「真岡くらしのガイドブック2025」を発行いたします。このガイドブックは、市役所の各種手続きや各相談窓口のほか、子育て、福祉、災害対策など日常生活に役立つ情報を掲載するとともに、生産量日本一のいちごや伝統工芸品の真岡木綿、真岡鐵道のSLなど、真岡市の魅力を紹介しております。

さらに、開館以来、幅広い世代が集う「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」施設として、利用者の方々から好評をいただいている複合交流拠点施設「monaca」をはじめ、リニューアルオープンした「いがしら温泉おふろ café いちごの湯」など6つの施設が集まる「いがしらリゾート」も掲載し、市内にお住いの皆様には真岡市の魅力を再発見していただき、新たに真岡市に転入される方にもすぐに活用していただける内容となっております。

なお、このガイドブックは株式会社サイネックスとの官民協働事業として、掲載した広告費により制作・配布されております。広告掲載にご協賛いただきました事業者、団体等の皆様に深く感謝申し上げます。7月末までに市内の全世帯に順次配布してまいります。

（６）いちごバス・もおかベリー号・真岡鐵道の小学生夏休み無料乗車キャンペーンについて

次に、いちごバス・もおかベリー号・真岡鐵道の小学生夏休み無料乗車キャンペーンについてであります。

この事業は、本市の公共交通の利用を通じ、乗り方や便利さを知ってもらうことを目的として、昨年度に引き続き実施するものであります。小学生を対象に、7月19日・土曜日から、8月31日・日曜日までの夏休み期間中に限り、いちごバスと、もおかベリー号のすべての区間を無料にすることに加え、真岡鐵道の北山駅から久下田駅までの区間において、2回分

の乗車を無料とするものであります。

いちごバスと、もおかベリー号は、小学生である旨を運転手へ伝えることにより、無料で利用することができます。

また、真岡鐵道については、小学校を通じて配布するチラシに掲載された真岡鐵道利用券を切り取って、降りる際に運転士へ渡すことにより、無料で利用することができます。

小学生のみなさんが、夏休みの期間中に、いちごバス、もおかベリー号、真岡鐵道を利用して、本市の魅力を発見することを期待しております。

（7）公共施設予約システムの利用対象施設拡充について

次に、公共施設予約システムの利用対象施設拡充についてであります。公共施設予約システムについては、1月25日にオープンした複合交流拠点施設 monaca において先行して導入しております。そのほかの公共施設についても準備を進めておりましたが、このたび7月1日より導入する施設が拡充されますので、お知らせいたします。

新たに導入する施設は、KOBELCO 真岡いちごホール、Auto Mirai 真岡公民館及び各分館、青年女性会館、生涯学習館、にのみや野外活動センター、真岡駅子ども広場の研修室、市本庁舎の会議室などであります。

公共施設予約システムの利用にあたっては、まず、各施設の窓口において利用者登録を行っていただく必要がありますが、登録後は、オンラインで施設の空き状況が確認できるほか、施設の予約やキャンセルなどを行うことが可能となります。

さらに、使用料につきましては、クレジットカード払いやキャッシュレス機能による支払いができるようになります。

また、その他の公共施設につきましても、準備が整い次第、順次導入を進めてまいります。

なお、従来どおり、各施設の窓口において、予約や支払い等を行うこともできますので、ご利用しやすい方法をお選びいただけます。

（8）フレックスタイム制度の試行運用について

次に、フレックスタイム制度の試行運用についてであります。

時代の変化に対応し職員がより働きやすい環境を整備するため、フレックスタイム制度の試行運用を、7月に実施いたします。本市では、近年、子育てや介護など、様々な背景を持つ職員が増加し、働き方もそれに合わせて変化させる必要があると考えております。

まず、今回の試行運用の具体的な内容であります。職員がライフスタイルに合わせて効率的に業務が進められるよう、午前7時45分から午後7時45分までの間で、4週間の勤務時間の合計が155時間になるように、勤務時間を設定できるものです。実施期間については、7月1日から31日までの1カ月間とし、総務課をはじめ、財政課、デジタル戦略課、市民課、社会福祉課、農政課など合計10課で実施いたします。

また、試行後にはアンケートを実施し、本格運用に向けた課題を抽出することにより、職員にとって真に働きやすい制度となるよう改善を図ってまいりたいと考えております。

職員の多様なライフスタイルに合わせた働き方を推進することで、より働きやすく、職員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる職場環境を整備し、市民サービスの向上につなげていくとともに、「働きたい」「働きたい」と思っていただけ、「選ばれる職場」づくりを促進してまいります。

（9）LINEによる移住相談の開始について

次に、ラインによる移住相談の開始についてであります。

これまで、移住相談は、電話や面接で行う方法のほか、メールやウェブ会議システムを活用したオンライン方式で行ってまいりましたが、移住に関心がある方が、より気軽に移住相談ができるよう、新たな取り組みとして、7月1日からラインを利用した移住相談の運用を開始いたします。

ラインでの移住相談の方法は、「真岡市移住相談」アカウントを追加し、相談したいことをチャットするだけになります。

メリットとしては、24時間いつでも相談ができ、担当者と気軽にやり取

ることができるようになります。また、本市の移住相談会などの移住関連情報を得ることができます。

本市の暮らしや、住まい、支援制度など、移住に関心のある方は、どうぞお気軽にご相談ください

（１０）その他（夏まつりについて、真岡グリーンツーリズム推進協議会事業「グリーンツーリズム研修会！真岡でできる新しい体験プログラムを考えよう」の開催について、真岡どろんこバレーボール大会 2025 の開催について）

・夏まつりについて

まず、7月に予定されております夏まつりの開催についてお知らせします。

先陣を切って「中村夏祭り」が、7月12日・土曜日と13日・日曜日に、長田交差点付近で行われます。

12日は、宵宮、13日は、お祭り広場を開催し、中村八幡宮大神輿をはじめ、幼稚園神輿や子ども神輿、中学生神輿の渡御、フラダンスやよさこい踊り、地域お囃子などが行われます。

続いて、「久下田祇園祭」が、18日・金曜日から20日・日曜日の3日間、久下田駅前通り周辺で行われます。

大正8年に始まった歴史と伝統を誇る「久下田祇園祭」では、総重量1.5トンもの大神輿による渡御が行われます。

続いて、本市の最大イベント「真岡の夏まつり荒神祭」が25日・金曜日から27日・日曜日の3日間、行われます。

26日・土曜日には、市内中心部で「お祭り広場」を開催し、本社・荒宮神輿をはじめ、子ども神輿、地域神輿、中学生神輿の渡御、山車・屋台の「ぶっつけ」や地域お囃子が行われます。

夜には、「神輿の川渡御」とともに、市役所東側の五行川河畔で「第53回真岡市夏祭大花火大会」が開催されます。是非、活気のある神輿、山車・屋台、花火の競演をご覧ください。

・真岡グリーンツーリズム推進協議会事業「グリーンツーリズム研修会！真岡でできる新しい体験プログラムを考えよう」の開催について

次に、真岡グリーンツーリズム推進協議会事業「グリーンツーリズム研修会！真岡でできる新しい体験プログラムを考えよう」の開催についてです。

本市では、農業体験会や農泊などの都市農村交流事業を更に推進していくため、8月3日・日曜日に、オートミライ真岡公民館にて「グリーンツーリズム研修会！真岡でできる新しい体験プログラムを考えよう」を初めて開催いたします。

当日は、本協議会の会員であり、真岡市の魅力を最大限に生かしたグリーンリズムの展開により、交流人口増加や地域活性化等の活動をされている、特定非営利活動法人 TSUNAGU MOKA の「宮澤康貴」氏を講師に招き、ワークショップ形式による体験プログラムの企画やコンテンツ開発手法などについて講演をいただきます。自分で新しい体験プログラムを企画してみたいと考えている方、農業体験会や農泊を実践したいと考えている方など、グリーンツーリズムに関心のある方であれば、どなたでも受講できる内容となっておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。なお、募集方法など詳細は、ウィークリーニュースもおか7月11日号、または市ホームページをご確認ください。

・真岡どろんこバレーボール大会 2025 の開催について

次に、真岡どろんこバレーボール大会 2025 の開催についてです。

8月10日・日曜日、二宮運動場前特設会場にて、今年もどろんこバレーボール大会を開催いたします。現在、参加チームを募集しており、募集期限は、7月9日までとなりますので、多くの皆様の応募をお待ちしております。ただし、応募者多数の場合は抽選となります。

また、会場には、一般社団法人公縁クロス機構の協力による熱中症対策と

して、ミストシャワー付きの車両・ミスト車を配置いたします。どろんこバレー当日は暑くなることが予想されますので、出場者の方々には熱中症対策としてミストの清涼感を楽しんでいただければ幸いです。

大会の募集方法など詳細は、市ホームページ等をご確認ください。

多くの方のご参加をお待ちしております。